

50年間の継続アクティビティ

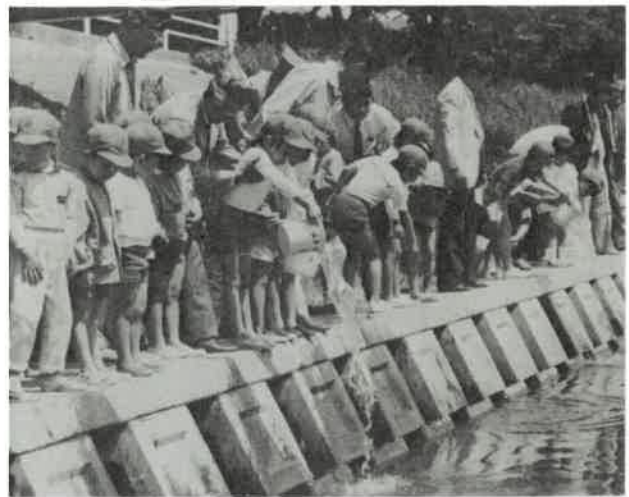
環境美化 “鯉の放流”

昭和49年（4年度）、社会情勢は高度成長へと急激に変化し、これに伴い工場・住宅が激増、汚水は豊川市の中央を流れる佐奈川へと集中的に流入し、“清流佐奈川”とは名ばかりの川となっていました。

そこでクラブは再び魚や生物の住める清流に戻そうと、地域の人々に協力を求め、河川の美化と水質浄化を目指して、近隣小学校、保育園児と一緒に鯉の放流を河川美化活動（ゴミ拾い、雑草刈り）とともに取り組み始めました。この活動が浸透し、放流時には豊川市長の御出席も頂くようになり、川の水は年々きれいになり鯉も成長し、その数は徐々に増え、20年が経過していきました。

ところが、平成6年（24年度）、前年度の記録的な冷夏から一転、梅雨時の雨も少なく、お盆にかけて記録的な猛暑となったことから、もとより水量の少ない佐奈川の生きものたちは水温の上昇と酸素不足などの原因で、行き場を無くし、これまで放流した鯉は大量死してしまいました。

長年続けてきた河川美化活動は自然の摂理に従うカタチで幕を閉じました。



愛知県交通安全運動に伴う “豊川市交通安全運動”

平成8年（26年度）のCN25周年記念アクティビティでの一市四町交通安全運動がきっかけとなり、この年から愛知県交通安全県民運動で実施される“交通安全運動期間”に合わせ、運転者や同乗者、歩行者・自転車利用者に交通安全の呼びかけをしています。

これまでの活動は、市内保育園児へ親子亀Tシャツの寄贈、「交通安全出発式及びトラックパレード」に参加し関係箇所へ交通安全ステッカーの配布、豊川駅から豊川稲荷門前までをパトカー先導にて近隣住民とともに交通安全パレードの開催と、地域の方々のご協力をいただきながら継続をして参りました。

最近では、産直広場などの施設で、近隣保育園の年長児らにちびっこ警官として啓蒙活動に参加していただき、買い物客らに交通安全の呼びかけをしています。令和4年度、愛知県警察本部長より感謝状をいただきました。

【共催：豊川警察署、交通安全協会豊川支部】

50年間の継続アクティビティ

こごかい葵まつり 献血推進活動 及び薬物乱用防止の呼びかけ

平成9年(27年度)から豊川市及び宝飯四町の5会場では豊川市健康フェスティバル・穂の国一宮まつり・小坂井健康福祉まつり・音羽まつり・御津まつりが開催され、豊川LCと共に会場へ出向いて四献推進活動を継続してきました。(平成18年から宝飯郡の豊川市への合併がはじまる)

平成14年(32年度)からは豊川中LCの単独で“こごかい葵まつり”の会場にて、献血推進活動、意思表示カード周知のための取り組み、薬物乱用防止の呼びかけを毎年の推進活動として継続しています。



新莊獅子会との合同アクティビティ 青少年育成少年軟式野球大会

平成16年(34年度)、青少年健全育成事業の一環として姉妹提携クラブ 台湾新莊獅子会との合同アクティビティとして『第1回 豊川宝飯青少年育成少年軟式野球大会』として開催されてから、今年は18年目を迎えることとなりました。市内より12チームが参加。4ブロックに分かれて予選が行なわれ、準決勝戦・決勝戦当日は、クラブ員は応援観戦をしています。チームへの参加賞及び上位チームへの賞状・賞品を手配し、また個人賞を設けるなどして、野球少年少女へエールを贈っています。

第1回にはワールドカップに出場し、女子プロ野球選手として活躍(平成26年～令和元年)をされた寺部歩美さんが豊川イーグルスでプレーしており、兵庫ディオーネ在籍中の第15回(平成30年)の準決勝・決勝戦にお招きし、子供らとの交流会の場を設けました。

さらに、本年度は周年事業として豊川市出身の元プロ野球選手 ギャオス内藤氏をお招きし、野球教室と講演を開催し「野球から学ぶ健康な心と身体づくり」を題してご指導をいただきました。

また、準決勝・決勝戦は台湾から新莊獅子会のメンバーが来豊されることが多く、選手らのモチベーションアップに繋がっているようです。



50年間の継続アクティビティ

豊川LCとの合同アクティビティ 桜(ソメイヨシノ)の苗木植樹

平成23年(40年度)、豊川LCとの合同アクティビティとして佐奈川堤防(白雲町・東曙町)に20本の植樹をし、翌年(41年度)、CN40周年記念事業として豊川市へ「ソメイヨシノ苗木 50本」の目録を贈呈して、大木町の佐奈川堤防沿いに12本の植樹をしました。

それから、平成27年(44年度)には豊川市健康福祉センター いかまい館(上長山町)へ18本を植樹し、40周年記念事業である桜寄贈(50本)は完了し、一段落しました。

その後、豊川市に桜の植樹を進めようと、「日本さくらの会 宝くじ桜寄贈事業」に申請をし、平成28年(45年度)に60本、平成30年(47年度)には50本のソメイヨシノ及びヤマザクラを植樹しました。

桜の苗木が育つ環境を選んで植樹を続けてきましたが、自然下では大変難しい事柄もあり、残念ながら、全ての苗木がその地に根付くことは出来ませんでした。しかしながら、大きく成長し続けている桜は、春になると人々の目を楽しませてくれています。

今後は、地域の方々の協力を得ながら、植樹した桜の維持管理に努めていきたいと考えています。



環境保全事業 本宮山 お清水舎周辺清掃

平成11年(29年度)に当クラブは本宮山の八号目に流れる御清水にお清水舎を改築寄贈しました。(写真)
その後、平成15年(32年度)お清水舎周辺にヤマモミジ、コナラの植樹をし、平成20年(38年度)にはベンチ2脚を増設したりと、登山者のホッと一息できる場所になればと折にふれて携わってきました。

ところが、平成21年に愛知県に上陸した台風18号は大きな爪痕を残し、お清水舎に大木が倒れ、辺りは大変な被害にあいました。しかしながら、お清水舎は平成22年に当クラブメンバー L加藤隆好のご厚意により現在のものに復元されています。

登山者も多く、豊かな自然に包まれた三河富士の環境保全のため、継続アクティビティとして平成24年(41年度)から一年に一度ペースで清掃活動を行っています。

